

私は英語が得意ではないのですが、海外に興味があり、また、今まで習ってきたものがどれだけ身につけているのか知りたいと思い参加しました。とてもハードな日程でしたが、人生の中でとても充実した8日間を過ごすことができました。

<事前研修>

校内や名古屋外国語大学で、班の仲間とのセッションや、自分の将来の夢のスピーチなどを行いました。自分の思っていることを咄嗟に英語にして伝えることや、相手の言いたいことをきちんと理解する難しさを痛感しました。



<ボストンでの体験>

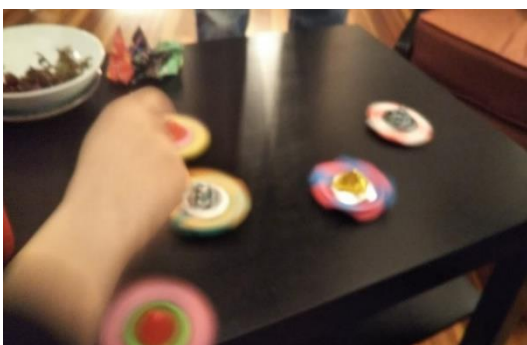
主に午前中は各自公共交通機関を使って大学やオフィスビルに向かい、GEM セッションを行いました。各グループに一人のリーダーが付き、すべて英語でディスカッションなどを行いました。初めのうちは、自分が言いたいことを頭の中で考えてまとめて…と少し話すのも一苦勞でした。しかし、ちょうどいい単語が見つからなかったとしても、まずはとにかく話してみることが大切だとわかりました。伝えようという気持ちがあれば拙い英語でもコミュニケーションが取れ、次第に話すことが楽しく感じるようになりました。

午後はボストン美術館見学や、市内散策、ハーバード大学キャンパスツアーなど、研修ならではの貴重な体験ができました。特にハーバード大学では、学生の方と勉強についてなどから好きな食べ物まで様々なことを話すことができました。どの方も自分の将来の夢や今研究していることについてとても楽しそうに、熱く語ってくださり、自分の好きなことに対してこんなにも熱中できる、人に伝えられるというのはすてきだなと感じました。私もこれだけは人より好きだと自信を持って言える何かを見つけていきたいです。

行き帰りの電車はものすごく揺れ、扉のガラスがひび割れていたり、進行方向を背にして座席がついていたりと驚くことばかりでした。日本の電車はゆっくり寝ることができるほど快適で素晴らしいと感じました。自分たちだけでホームステイ先から約一時間かけてバスを乗り継いでいくのはとても不安でした。帰りに違うバス停で降りてしまった日もありましたが、なんと道路一本ごとにバス停があり、歩いてすぐ帰ることができました。

全体を通して、ホームステイ先での時間が一番印象に残っています。あまり長い時間をホストファミリーと一緒に過ごすことはできませんでしたが、折り紙をしたりボードゲームを教えてもらったりと濃い時間を過ごすことができました。私たちが焼きそばを作る材料を買うために車でスーパーへ連れてってくださったのですが、ピーマンがなく、市街のスーパーまで行った日もありました。毎晩の夕食では、家族全員で食卓を囲み、その日の研修や高校生活など様々なことを質問して下さったり、小学生の子の学芸会の話をして下さったりと、たくさん会話ができて楽しかったです。また、はじめのほう、私は“Sorry”と何回も言っていたのですが、“Sorry”ではなく“Thank you”と言ったほうがいいよ”と言われ、いつもありがとうと伝えられると気持ちがいいなと思うようになりました。とても優しく、明るくて素敵なホストファミリーに出会えてとても幸せだなと思います。最後にもらったメッセージボードは宝物です。このいただいた気持ちを私も他の人に伝えられるようになりたいです。

ホストファミリーと折り紙



<考えたこと>

今回参加して、自分の気持ちを伝えたいと強く思うことが大切だと学びました。例え英語が苦手だとしても、積極的に発言していけば会話が展開し、発想が広がるとわかりました。また、しっかりと伝えるためにも「しゃべることができる」英語をもっと勉強しなければいけないと感じました。出会いと、参加できたことに感謝して、これからの学校生活も励んでいきたいです。

ボストン研修を通じて

川越悠生

1. 私の研修の目標

私は今まで海外に行ったことがなかったため、日本から見た海外しか知りませんでした。それでは違う文化を教えられてもしっかりと学べていないのではないかと中学 3 年生の頃から考えるようになりました。そのため、自分が触れたことのない文化に触れて、自分の価値観や視野を広げたいというのが私の目標でした。

2. 事前研修

事前研修では、ボストンに行く上で知っておいた方がよい歴史や最低限の聞き取り能力を養う研修が行われました。最低限の能力と言っても「単語を覚える」などではなく、名古屋外国語大学の先生のお話を聞いたり、班で協力してプレゼンテーションを行ったりと楽しく英語に慣れるような研修が行われました。

3. ボストンでの体験

ボストンに着くと驚くことがたくさんありました。先進的な建物が立ち並んでいると思えば、古い西洋建築が融合していたり、車が右側通行だったり。何より、見たことのない街並みで、周りが英語に囲まれている、未知の場所に来たような空気感は日本では味わえないものでした。

また、研修で特に印象深いのは MIT (マサチューセッツ工科大学) とハーバード大学に訪問した際の事です。MIT は最新鋭の建物が並んでいて、もはや街のような印象でしたが、ハーバード大学は伝統を感じさせつつも新

しさを取り入れていて、世界最高峰の教育機関の一端を少し感じられたように思います。そして何より貴重なことが、現地の学生の方からお話を伺えたことです。海外の大学で学んでいる人たちはどのような考えを持っているのか知ることが出来ました。

その際私がお話した人に、将来優れた遺伝子を残したいから結婚して子供が欲しいと話している方がいらっしゃいました。突飛な考えだと思ったのですが、話を聞くと自分の中でしっかりとした論理と意見を持っていて、私が持つ常識が必ず正しいわけではないのだと痛感しました。また、中には日本語を使える方や日本人の方もいらっしゃって、日本の文化を知っている人は海外で何を感じ取っているのかなど、より私たちの視野や考え方の幅が広がるような経験が出来ました。

4. 研修の感想

この研修で英語力の向上はもちろんなのですが、何より自分の視野や価値観を広げられたのが一番でした。今まで行ったことがない場所で言語も文化も違う人達と会話をし、生活をして得られる感覚は、日本で机に向かっているだけでは絶対に体験できないものです。この感覚は私の人生により深い学びを与えてくれる経験になりました。



MIT の中から撮ったボストンの街並み